

◆ 今、この曲を聴いて！

- So much in love
- Remember me baby
- You belong to me
- ALONE

これら4曲、山下達郎 sound として
 どの曲にも南蛮賞のある曲だと思います。
 今回、これらを伊藤俊次氏にプレゼント
 いただき、今混に、その歌を聴くことになり
 ました。
 どの曲も透明感のある、リスニングのものばかり
 です。早く曲にのれるのが楽しみです。


◆ 春合宿があります！

先月号(初版分のみですが)に合宿の日付が間違えて記載してしまわれたので訂正
 します。すみませんでした。

3月19日(土) ~ 20日(日) at 名古屋宿旧青年の家

この2日間は予定はいろいろ下エロ。
 年2回の合宿は朝食と昼食に拘らず、団員間の良きコミュニケーションをとり、また、
 知性的な練習をするためのものです。
 一人でも多くの参加を望みます。

◆ あはたは団費を払いましたか？

前期(地方団員については一年)分の団費・納入期限は12月末でした。
 しかし、納入率は  の思われず。この数字！ 個人利用料
 は現在 3,000円です。財政難です。あはたの団費が今混に救います。

早急に納入！



by 会計委員会

◆ あの山田さんが中国に帰国！

「中国」という言葉を聞いて、どのような感慨に思ってもらえるだろうか。「俺の先祖は中国
 生まれだ」と勝手に思っ込んで大陸浪人をしてきた私の感想は、現実の中国とマ
 スコミ等で紹介されている中国とは大きくちがうということだ。中国に対する認識が
 今回の旅行で大きく変わった。(※1) 帰国後、友人から「あはたは中国が大好きなんでは
 ないか」と聞かれたら、即座に「大嫌いだ」と答えるようにしている。しかし、何か思惑を感じる国
 もう一度行ってみたい国、それが「中国」である。

中国人と同じように歩き、食べ、寝る旅。二等列車の硬い座席で中国の庶民と隣り合
 せに旅行がから筆談したり、七ツワリの種をポリポリ食べる旅。旅社や招待所(※2)で相
 部屋の人と荷物を見せあたり、町かどで人々と料理を交換し、互いの国について語り合う旅。
 この旅行には、外国人の旅行動向に素直な驚きを表現する人々の生々しい表情が見ら
 れ、日本人の遠くを忘れてしまったものも思い出す。この本職は人への語りつくせぬもの
 あり、さらに異国の文化・体制・民族を感じさせずにはおられなかった。しかし、時には、社会主
 義の非能率に腹を立たせたり、何を舞わせても没有(※3)の一言で片付けられてしまう官僚
 主義に飽きられ途方に暮れたこともあった。この旅行体験を通して私には、日頃の生活
 の中で興味を感じた体制や意識の問題に関する手がかりとなり、日本を自分について考え
 る機会を与えてくれたと思う。

こうして私の三月に渡る大陸旅行は終山りと迎えた。大陸の広大な自然、巡り合
 った友人、それに三月七日の練習出席を認められた今混の仲間、紙面をかりて感謝
 する。今後、中国に行かれる方 お気軽にお尋ね下さい。

山田哲也

- ※1 - 塵、唾、油、社会主義、人、自転車、象徴される中国を更感しました。
- ※2 - 1泊150~300円くらいで泊まれる。当然大部屋。バツエテたことになりが。
- ※3 - 一回の旅行には脚に「没有(ノイヨウ)」のフレーズで大陸を歩いてみる予定

◆ 練習、人不足！

毎日寒いせいでしょうか、最近の出席状況は決してよくありません。7時に全員を
 止めるのが困難ですが、あつたさんや練習を進めなければ、練習は進みません。
 7時の音取りかどを進行の中心者を置くようスタッフも努力していますので、皆
 ん、楽しんでルールのドアを開けらるるよう努めたいと思います。

内政委員会